

科目番号	EB106				
科目名	林業機械学(実習1)				
担当教員	岩崎 幸太郎(森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	林業機械		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年		授業形態	実習	
開講時期	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数 4
授業時間数	50 コマ		(100 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	林業・木材製造業労働災害防止協会安全衛生指導員他	
実務経験を活かした授業内容	林業・木材製造業労働災害防止協会安全衛生指導員等の指導のもと、安全で確実な伐木造材作業及び刈払い作業の基本を学ぶ。				

目的	チェーンソーを使用した伐木造材作業及び刈払い作業の基礎知識及び安全作業を習得する	
概要	伐木造材作業や刈払い作業の基礎知識と安全作業のための操作実習、安全なかかり木処理の実習	
キーワード	チェーンソーを使用した伐木造材作業、かかり木処理及び刈払い作業	
関連する科目		
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
		森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	試験50%、態度25%、技術25%	

授業計画	テーマ	講義内容
1~8	刈払い機による刈払い作業	刈払い機の点検・整備、刈払い機による刈払い作業、刈払い作業の基礎訓練(2日間×4コマ=8コマ(12h)) [造林・育林12h]
9~20	チェーンソーによる伐木造材作業	チェーンソーの構造基礎、メンテナンス、操作基礎、作業基礎訓練、伐木造材基礎訓練、伐木造材実習(3日間×4コマ=12コマ(18h)) [基本的事項12h、伐木・造材6h]
21~41	チェーンソーによる伐木造材作業	チェーンソーの構造基礎、メンテナンス、操作基礎、作業基礎訓練、伐木造材基礎訓練、伐木造材実習(4日間×4.5コマ=18コマ、1日間×3コマ=3コマ、計21コマ(31.5h)) [伐木・造材31.5h]
42~50	かかり木処理作業	安全なかかり木処理の実習(2日間×4.5コマ=9コマ(13.5h)) [伐木・造材13.5h]
		[計75h]

テキスト	
参考書	
関連する資格	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育、伐木等の業務に係る特別教育
備考	